9．国立大学法人等業務実施コスト計算書における機会費用の計上方法
⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法
近隣の地代や賃借料等を参考に計算しております。
⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率
新発10年国債の平成22年３月末利回りを参考に1.395％で計算しております。
10．リース取引の会計処理
リース料総額が3,000千円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によって計上しております。
11．消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税込方式によっております。
12．財務諸表の表示単位
財務諸表及び附属明細書いずれについても、千円単位（単位未満切り捨て）により作成しております。
（追加情報）
当事業年度より、「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」（「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」の改訂について」（「国立大学法人会計基準等検討会議平成21年７月28日」）及び「「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針」（文部科学省、日本公認会計士協会平成22年３月24日最終改訂）を適用しております。
（固定資産の減損会計）
［減損を認識した固定資産］
＜Ⅰ＞
・固定資産の概要
課外活動施設（長崎県長崎市西町所在）

＜種類＞	＜帳簿価額＞
構築物　硬式テニスコート　外２式	1,370千円

・減損の認識に至った経緯
宿舎整備に係る事業契約締結のため、平成21年９月９日以降、使用しないこととなったため減損を認識しております。
・減損額のうち損益計算書に計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

＜種類＞	＜減損額＞
構築物	1,370千円

・回収可能サービス価額の算定方法の概要
取り壊し後宿舎整備を行うため今後の使用も想定されず、また売却不能であるため、０円としております。
＜Ⅱ＞
・固定資産の概要

＜種類＞	＜帳簿価額＞
工具器具備品　高圧定量ポンプ	5,307千円

・減損の認識に至った経緯
今年度において、使用可能性の著しい低下が認められており、将来の具体的な使用が想定されていないため減損を認識しております。
・減損額のうち損益計算書に計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

＜種類＞	＜減損額＞
工具器具備品	5,307千円

・回収可能サービス価額の算定方法の概要
特殊な機器であるために売却不能であり、今後の使用見込みがないため、備忘価額としております。
＜Ⅲ＞
・固定資産の概要
土地　桜馬場職員宿舎敷地（長崎県長崎市桜馬場所在）

＜種類＞	＜帳簿価額＞
土　地　268.53㎡	33,300千円

・減損の認識に至った経緯
今年度において、宿舎を廃止したため使用可能性の著しい低下が認められており、平成22年度において敷地を売却処分することが決定しているため、減損を認識しております。
・減損額のうち損益計算書に計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

＜種類＞	＜減損額＞
土　地	2,687千円

・回収可能サービス価額の算定方法の概要
回収可能サービス価額は正味売却価額により算定しており、正味売却価額は近隣の取引事例を基準として算定した価額を使用しております。
［翌事業年度以降の特定の日以後使用しないという決定を行った固定資産］
＜Ⅰ＞
・固定資産の概要
職員宿舎（白鳥宿舎２棟）（長崎県長崎市白鳥町所在）
①建　物
②構築物
・使用しなくなる日　平成22年４月（予定）
・使用しないという決定を行った経緯及び理由
当該建物は老朽化が進み、建替整備による取り壊しが予定されております。
・将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

	使用しなくなる日における帳簿価額	回収可能サービス価額	＜減損額（見込額）＞
①建　物	19,074千円	―千円	19,074千円
②構築物	168千円	―千円	168千円

上記の建物には附属設備が含まれております。
＜Ⅱ＞
・固定資産の概要
職員宿舎（白鳥宿舎３棟）（長崎県長崎市白鳥町所在）
①建　物
②構築物
・使用しなくなる日　平成23年４月（予定）
・使用しないという決定を行った経緯及び理由
当該建物は老朽化が進み、建替整備による取り壊しが予定されております。
・将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

	使用しなくなる日における帳簿価額	回収可能サービス価額	＜減損額（見込額）＞
①建　物	36,084千円	―千円	36,084千円
②構築物	1,885千円	―千円	1,885千円

上記の建物には附属設備が含まれております。